

2020 年度事業計画

自令和2年 4月 1日 至令和3年 3月31日
公益財団法人 大平正芳記念財団

事業計画概要

公益財団として3つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学術センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」について、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業を着実に遂行する。

1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第36回大平正芳記念賞 6件に対しクリスタル牌と
賞金 550万円

- ① Wahyu Prasetyawan 氏
(シャリフ・ヒダヤ・アラール 国立イスラーム大学ジャカルタ講師)
『NETWORKED: Business and Politics in Decentralizing
Indonesia, 1998—2004』
京都大学学術出版会 2018年
- ② 猪俣 哲史氏(ジェトロ・アジア経済研究所上席主任研究員)
『グローバル・バリューチェーン 新・南北問題へのまなざし』
日本経済新聞出版社 2017年
- ③ 伊藤 泉美氏(横浜ユーラシア文化館副館長)
『横浜華僑社会の形成と発展
—幕末開港期から関東大震災復興期まで』
山川出版社 2018年
- ④ 関 智英氏(公財) 東洋文庫奨励研究員
『対日協力者の政治構想: 日中戦争とその前後』
名古屋大学出版会 2019年

- ⑤ 細田 尚美氏(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科助教)
『幸運を探すフィリピンの移民たち：冒険・犠牲・祝福の民族誌』
明石書店 2019年

特別賞

- ⑥ 金成 隆一著(朝日新聞経済部)
『ルポ・トランプ王国—もう一つのアメリカに行く』
岩波新書 2018年
『ルポ・トランプ王国2—ラストベルト再訪』
岩波新書 2019年

- (2) 第33回学術研究助成費 該当者無し
(3) 岩手大学大学院奨学金 応募無し

2 北京日本学研究中心との共同事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

- (1) 第16回「日本語優秀学位論文大会」の開催
※6月20日前後(卒業式に合わせ)に表彰式を行う。
(2) 大平学校40周年、北京日本学研究中心35周年
9月北京にて、記念展示会、シンポジウム、懇親会を行う。
(3) 9月に、日本在住の大平学校卒業生の40周年記念イベント開催

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

- (1) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業。
① 大平正芳記念館の運営のサポート
(2) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団
レポート」発行と無償配布の事業

- ① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行
ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット
イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(2020年6月から2021年5月まで)リーフレット
- ② 「大平正芳記念財団レポート」第38号の発行
- ③ 「硯滴考6、7」の発行
- ④ 「大平総理訪中40周年記念書籍」(仮称)の発行

(3)HPのリニューアル、FACEBOOKでの広報活動